

染 香

ぜんこう

福 泉 寺 寺 報
令和8年9月
第 146 号
毎月 1 日発行

ホームページ



おて LINE



Facebook



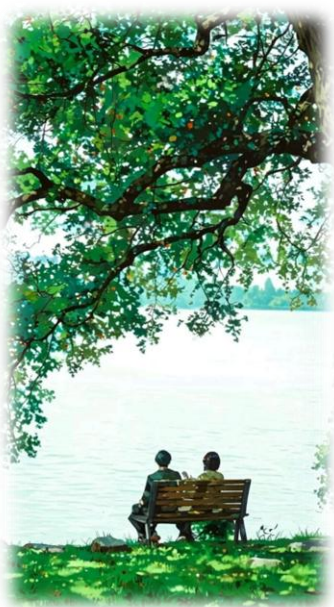
しょうがない

今年のお盆法要では「死」をテーマに、医師、看護師、僧侶の三人で語り合いました。

誰もが「自分はどんな最期を迎えるのだろうか」と、ぼんやり思うことはありそうです。その意味では、最前線でかわるお二人から、生の声を聞かせていただいたことは有意義でありました。

死について考えることは、突き詰めていくと、どのように生きていくかということに結びつきそうです。

また、今回の中心テーマにもなりました「苦しみ」ですが、ひと言でそう表しても、「身体」「心」「社会的なもの」あるいは「人間の根源にかかわるもの」がありそうです。



野島先生はたびたび「しょうがないこと」と表現されました。

使い慣れた言葉だからこそ、かえってその奥行きに考えさせられました。生まれてきたこと、老いること、病に倒れること、死ぬこと…。

どれも、私の思い通りにできないことです。仏教は、苦しみをなくすことより先に、「私たちはなぜ苦しむのか」を見つめてきました。頭ではしょうがないと分かっているけど、なぜか素直に受け入れられません。どうやら、薬だけでは届かない苦しみもあるようです。

看護師の田原さんは、医師とは違う立場から、薬や医療行為だけでは届かないところにアンテナを張っておられる印象でした。以前、ある研修で、何かを「する」ではなく、ただそこに「いる」ことの大事さを教えていただきました。

言い換えれば、「すでに答えを持っている人」というよりも「ともに探究者である」ということでしょうか…。

お二人の話を聞きながら、私は、

「もし、『しょうがないと受け入れられない私』でいいんだと認めてくれる世界があるなら、こんなに幸せなことはないな」とか

「そこに宗教の意義があるかもしれないな」とか、頭の中で考えを巡らせていました。

参加者の皆様の心にも、一石が投じられたような気がいたします。

その波紋が大きくなっていくのは、明日か五年先か、わかりません。

お二人には、本当に感謝いたします。ありがとうございました。（住職）

真宗用語の基礎知識



【永代経（えいたいぎょう）】
浄土真宗における永代経は

「永代経法要は、先祖から自分へ受け継がれた阿弥陀様の教え（お念仏）が、まだ見ない子々孫々の世代へ途切れることなく伝えられていくことを願う法要」

というものです。他宗派でも同じ名目で行われるようですが、それぞれに明確な趣旨があります。

福泉寺の永代経法要は、春秋のお彼岸法要に合わせてお勤めいたします。ぜひお気軽なお気持ちで、立ち寄ってみてください。

ちょっと あたまの

こりほぐし

一日中働いたら、お給料のほかにも

くれました。それは为什么呢？

こたえは裏面です



おてらより

★報恩講の予定のご案内

●日程：12月5日（土）おてらうんじ
12月6日（日）報恩講法要
12月7日（月）真宗に学ぶ講座

●当番：倉光・坊寺・江良地域の皆さま
★報恩講参りは10月1日～1月31日
おつてご連絡差し上げます。

★インスタでの近況発信を始めました。
今はお寺の世界も、ラインやインスタグラムなどSNSを使った発信や、皆様とのやり取りも当たり前の時代になりました
もし、これらをお使いの方は、右のQRコードよりご覧になってみてください。



「ありがとう」で未来が変わる

宜山小学校5年 児玉 仁

十一才のぼくは、今まで何度もうそをついたことがある。その後、正直に話してもうたがわれたり、うそをいいつづけることにあったりした。でも、そこで、ぼくは「正直に話してもらうこと」について考えた。でも、百パーセントうそをつかないこともできないけど正直に話すと、おこられるけど心がスツキリした。

話すことや言葉が一言でも変わると未来が変わると思ったのだ。そこで「ありがとうで未来が変わる」ということについて考えた。

気持ちを、「プラス」か「マイナス」かで考えてみてほしい。

気持ちがプラスになる言葉は、うれしいことをしてくれたことに対しての返事なのだと思う。ぼくが友達の手物をもつと「ありがとう」と言われたり、友だちが僕手伝いをしてくれた時に「ありがとう」と言ったりすると、

友だちがニコニコしていたからだ。すると、どうしてなのだった。もしかとして、これが「プラスの気持ち」を生み出すことなのではないかと思った。

気持ちがプラスになる言葉は他にも色々ありそうだ。

たとえば。「うれしいな」や「楽しかったね」「〇〇さんが作ってくれた料理、おいしいね」などの言葉がある。

なぜ、これらがプラスの気持ちになる言葉なのかは、ぼくの体験上での出来事があったからだ。

ある日、友だちと一緒にえい画を見に行きました。見終わると友だちから「えい画面白かったね。と言われた。ぼくも思わず「うん。面白かったね」と、はずむように言葉が出た。その時のぼくは、友だちと気持ちがひとつになったように感じたから、プラスの言葉が出たのだと思う。

しかし、これらの言葉が素直に出ない時がある。特にぼくは、家族に対し

て出にくいと感じる。それは多分、僕が生まれたところから家族が様々なことをしてくれているからだと思う。してくれていることが当たり前と思っていると、感謝の気持ちがわきにくいのかも知れない。

ところで、「ありがとう」は漢字で「有難う」と書くそうだ。この漢字の意味を父にきくと「当たり前でないこと」と教えてもらった。

そこでぼくは、当たり前じゃないことについて考えた。「習い事に通わせてくれること」「ご飯を作ってくれること」「学校に通わせてくれること」「色々な所に連れて行ってくれること」とそして「ぼくを生んでくれたこと」など、数え切れないくらいあっておどろいた。

「当たり前」の反対は「ありがとう」だ。だから、当たり前じゃないことは、全て「ありがとう」なのだった。

もし、これから「ありがとう」が出にくかったら、漢字の意味を思い出して、当たり前じゃないのだなと考え方

を変えて、勇気を出して「ありがとう」といいたい。

みなさんも、ついつい当たり前だと思ってしまうことはないだろうか。ぼくたちの身の周りには、そのように思っていることが案外たくさんあるかもしれない。

「当たり前」から「ありがとう」へ、たった五文字を変えるだけで、未来が明るく変わっていくと信じている。

